

停電対策や耐震対策により、 災害時でも継続的な教育・学習環境を提供する

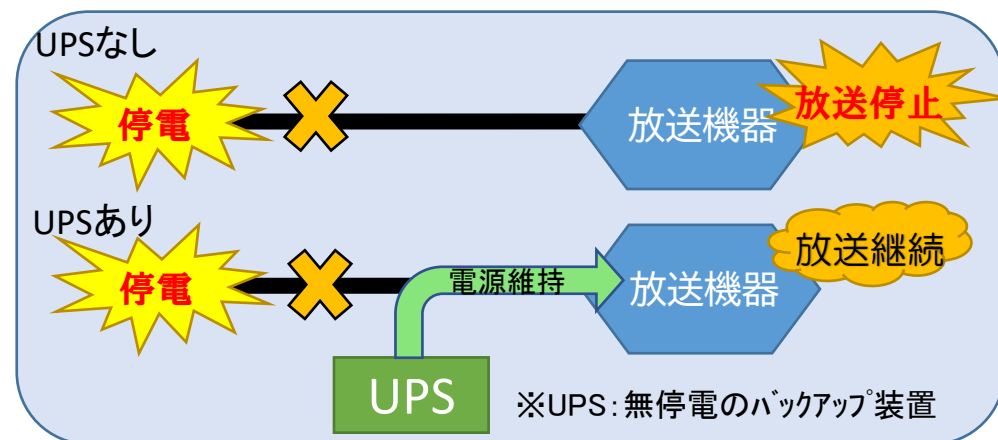
【対策】95 放送大学学園の施設整備に関する対策

対策概要: 放送大学学園において、災害時の教育機能の低下を防ぐため、老朽化・陳腐化が著しい施設の改修を実施する。

府省庁名: 文部科学省

【事例】放送及び学習環境の防災・減災機能の強化

- 実施主体: 放送大学学園
- 実施場所: 千葉県千葉市
- 事業概要: 令和元年房総半島台風(台風15号)において、千葉県広域に停電が発生、千葉市まで達しなかったが災害時の対策が課題となった。地震や台風等に伴う災害が発生した場合でも、全国各地に在住する学習者に対して、教育機能を低下させることなく、継続的な教育・学習環境を提供するため、施設の停電対策として、放送機器に係る電源装置や幕張本部地区の電力確保の整備を進めるとともに、耐震対策として、放送番組の制作が継続できるようスタジオ設備の更新を行った。
- 事業費: 2.7億円
(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)2.5億円)
- 効果: 千葉県における令和元年の台風15号に伴う長期停電被害と同規模の災害等が発生した場合でも、本対策により整備した電源装置等により電力を途切れさせず、全国各地に在住する学習者(約9万人)に対して継続的な教育・学習環境の提供が可能となる。



老朽設備

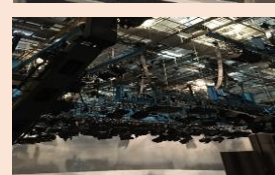


蓄電池更新で
発電機切替ま
での電源確保

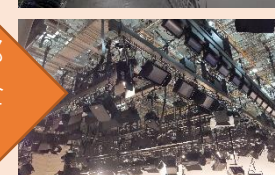
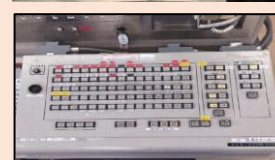
更新設備



建築非構造部
材の耐震安全
性の確保



パネル表示で
スマート化



継続的な教育・学習
環境の提供可能に